

平成27年3月31日

広島大学工学同窓会

専務理事 松尾 彰 様

広島工業会 久留米支部

支部長 木下 茂

拝啓 桜が満開の候となりましたが、年度替わり等でご多忙のことと存じます。

さて、当支部の幹事会が、「久留米支部 活性化の現状」をまとめましたので、ご参考までにお送りします。

敬具

広島工業会 久留米支部 活性化の現状

広島工業会 久留米支部 幹事会

広島工業会 久留米支部の活性化の因は、いろいろあると考えられますが、基本的には、支部長の「何事も楽しく！」という基本方針(ポリシー)と、それを楽しく知恵を絞って実行する幹事会のやる気の二つが大きいと考えます。

1. 支部長の基本方針

木下支部長からいつも「何事も楽しく、知恵を絞りましょう。」という基本方針を示されているので、支部活動もそれに基づいて行っています。考えてみますと、総会・懇親会の参加者も支部運営に携わる幹事会のメンバーも楽しいから、参加・運営をしているわけで、この基本方針の実行は重要であると考えます。

2. 総会・懇親会の時間配分

支部の総会・懇親会も、楽しく参加者が過ごせるように、総会関連事項に関することは、極力短時間で済ませるようにしています。(参加者に本音を聞いてみると、総会関連事項は人気がない。短い方がよい。それよりも、早く酒が飲みたい。話がしたい、ということのようです。)

そのためには、案内書に総会提案事項を詳しく説明しておき、総会では「案内書に記載した通りですが」と、概要を簡単に話し、賛否を確認することにしていきます。

このやり方は、欠席者にも支部活動の状況を通知するメリットにもなっていると考えられます。

3. 懇親会の構成/形式

要するに参加者が求めているのは、気の合った仲間と楽しく酒を酌み交わすことと自分の話を聞いて貰いたいということのように思われます。

従って、総会後の懇親会の形式は、マイクを回して一人ひとり話したいことを述べる「マイク回し方式」(耳の遠い人にも聞こえるように)と、従来の宴会のように話したい者のところへ徳利を提げて行く「宴会方式」とを司会者の判断で、適宜入れ替えて進めています。

「マイク回し方式」は、全員がよく話を聞いてくれるので、評判がよいようです。

更に、「言いたい放題コーナー」というのも設けています。何を話してもよいという時間です。こじんまりした会だから出来ることですが、皆さんのインテリゼンス、うんちくは、あえて開陳されると笑いを交えて失敗談や病氣克服や趣味や近況等、参考になることが多く、よく続いています。これは、以前「卓話」と称して、技術、時事問題等テーマを決めて、20分程話をして貰っていましたが、現役世代が少なくなり、演者の選定が難しくなってきたので、このように変更したものです。

4. 久留米支部の特長

久留米支部の特長は、参加会費が5,000円で安いことと、総会・懇親会が年2回で、しかも内1回は参加会費不要であることです。(年会費等は、徴収していません。総会・懇親会の参加会費から、必要経費を賄っています。)

参加会費が安い理由は2つあり、1つは会場を(株)ブリヂストンの厚生施設であるブリヂストンクラブを利用させてもらっていること、2つは醗酵科の支部長から純米大吟醸等の高級酒の提供を受けているからです。

総会・懇親会を年2回開き、内1回は無料にしたのは、繰越金が幾分貯まったからで、会員に還元する意味で実施しています。繰越金がなくなれば、終了となりますので、繰越金が長続きするよう、参加会費不要の会の際は、終了後募金箱を置いています。募金箱も一ひねりして、「余金箱」(金の余っている人は、ご協力ください。)とし、無色透明なプラスチック容器にして、中がよく見えるようにしています。

事務局もそれなりの努力をしています。通信費を抑えるため、案内書等の送付には、「郵便書簡」を利用しています。62円で封筒も不要です。

返信用のハガキも極力省略し、電話で済ませるようにしています。但し、こうして浮かせた金額は、微々たるもので、繰越金には全く影響はありませんが、事務局も努力をしているという、姿勢を示す効果はあると考えます。

更に特筆すべきことは、隣の福岡支部から毎回3名の方にご参加戴いていることです。しかも元支部長、元副支部長の方々も含まれます。3名の方は、常連さんで毎回参加して戴いている

ということは、久留米支部の総会・懇親会が楽しいかの証でもあると考えます。

なお、熊本支部の招きに久留米支部長が応じ、交流が楽しく有意義だったとの報告を聞いています。

5. 幹事会の活性化

「幹事会の活性化」は、見方を変えれば、提案の出し易さでもあり、出した提案が採用され易いことにあります。出された提案は、まずやってみよう。やってみて悪ければ止めればよい、という自由な雰囲気(ムード)が久留米支部幹事会にあるからと考えられます。

6. 久留米支部の問題点

若い会員がいない。新卒者が入社してこない、久留米地区の経済的地盤沈下による等の致し方ない面もあります。

総会・懇親会の参加者が増えない。この数年で増加したのは、2名です。「お試し価格」と称して初回参加費を半額にし、名簿の中から参加しそうな人に、「お試し価格」で初回半額(僅か2,500円)で、とにかく楽しい会だから一度来てみてくださいと、熱心に粘り強く誘って見ましたが、やはり参加する気のない者は、いくら誘ってもダメでした。

7. 他の支部に参考になりそうなこと

(イ)支部長一人では限りがあり、幹事会の活性化の実行が重要と考えます。活性化には、上記5.に記載したことが重要であると考えます。幹事の人数は、多くなくてよいと考えます。頭数よりもやる気です。

(ロ)参加会費を安く抑える方法

企業の厚生施設の中には、ブリヂストンクラブのように、一般にも開放しているところがあるのではないのでしょうか。幹事会で探してみてもどうでしょうか。(都心のホテルで開催するより実質的でよい面があります。)

(ハ)おいしい酒を安く提供してもらう方法

醗酵科の支部会員がいる場合は、PRに努めるから等と、お願いしてみてもどうでしょうか。

(ニ)その他 久留米支部で実施していること

- ・若手対策 40歳以下の若手の参加会費は、半額の2,500円としている。
- ・お試し価格 初回参加者の参加会費は、半額の2,500円としている。
- ・婦人会費 女性の参加会費は、半額の2,500円としている。

以上